講義科目　:演習 担　　当　:田添 篤史	単位数　:4 学習形態　:必修科目 ＊第2学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

テーマ：経済学から社会を考える
概要：現代の社会には様々な課題があります。それらを考えるために、現代社会について様々な面から取り扱ったテキストを輪読します。
そのうえでゼミ生が自ら選んだテーマに基づいて調査、報告を行い、卒業論文を完成させせることを目標とします。

授業計画

第１回　演習の目標,評価方法の説明
第２回　参考文献の探し方,引用の方法
第３回　論文の構成方法
第４回　経済の仕組みと経済政策
第５回　日本の経済政策の歴史
第６回　国土開発政策
第７回　中小企業政策
第８回　農業・食料政策
第９回　労働政策
第10回　医療政策
第11回　住宅政策
第12回　コミュニティ政策
第13回　財政政策
第14回　金融政策
第15回　科学技術政策
第16回　通商政策
第17回　開発援助政策
第18回　卒業論文のテーマ発表
第19回　テーマを決定した理由の発表
第20回　テーマ決定の妥当性の検討
第21回　先行研究調査のまとめ
第22回　先行研究に対する批判的検討
第23回　先行研究とテーマとの関連性
第24回　論文の構成の発表
第25回　論文構成の妥当性の検討
第26回　自己の主張の論理構造について
第27回　論理展開の妥当性を検討する
第28回　結論の発表
第29回　結論にどのような意味があるのか
第30回　コメントへの返答

教材・テキスト・参考文献等

1冊目のテキストについては受講者と相談のうえで初回のゼミまでに決定します。

成績評価方法

ゼミにおける発表、ディスカッションへの参加態度（以上２つで70%）、卒業論文の内容（30%）により総合的に判断します。